

社会福祉学科

社会福祉 専攻

2 年

科目名：福祉行財政と福祉計画				担当教員氏名：宮嶋 潔		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	2年次 後期	専門選択科目	講義	選択	社会福祉士国家試験基礎受験資格(必修)	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：			社会福祉士としての実務経験をもとに福祉行政や福祉計画の実際を事例を交えて授業する。			
授業科目の学習教育目標の概要：				キーワード		
福祉の行財政の実施体制(国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む。)について理解するとともに、福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点についても理解する。				福祉行政、社会福祉法、地域福祉計画、地域福祉活動計画、地域住民		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5		
A 知識・理解力		自治体の役割と福祉計画の位置づけについて総合的な知識を身につける。				
B 専門的技術		プランニング事例を通して策定方法やスキルを理解する				
C 論理的思考力		計画策定のプロセスを理解することで思考力を身につけることができる				
成績評価の基準と方法：以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト：50 %	レポート： %	発表：20 %	実技試験： %	その他：30 %		
特記事項：「その他」とは、授業出席、態度のことである。本科目では、アクティブ・ラーニングの一環として、グループワークを活用し、学生相互の理解を深める。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：別に定めた日時で実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：第8回目と第15回目に実施するテストに評価を付けて学生に返却する。						
授 業 計 画			準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習 等)			
			学 習 内 容			学習に必要な時間(分)
①オリエンテーション						【復習】30分
②福祉行財政と福祉計画			(予)教科書「福祉と制度」を読む			【予習】30分 【復習】30分
③福祉行財政と福祉計画 福祉の法制度			(予)「福祉の法制度の展開」を読む			【予習】30分 【復習】30分
④福祉行政 福祉行政の組織			(予)「福祉計画の概要」を読む			【予習】30分 【復習】30分
⑤福祉行政 社会福祉基礎構造改革			(予)「社会福祉基礎構造」を読む			【予習】30分 【復習】30分
⑥福祉財政 財政と社会福祉			(予)「財政と社会福祉」を読む			【予習】30分 【復習】30分
⑦福祉財政 福祉サービスの利用と費用負担			(予)「福祉サービスの利用と費用負担」を読む			【予習】30分 【復習】30分
⑧福祉行政の組織・団体と専門職の役割、中間まとめ			(予)「相談過程・相談体制」を読む			【予習】30分 【復習】30分
⑨福祉計画の目的と意義			(予)「福祉計画の目的と意義」を読む			【予習】30分 【復習】30分
⑩福祉計画の理論と技法 福祉援助の現場から福祉計画へ			(予)「福祉計画の理論と技法」を読む			【予習】30分 【復習】30分
⑪福祉計画の理論と技法 老人福祉計画と介護保険事業計画			(予)「老人福祉計画と介護保険事業計画」を読む			【予習】30分 【復習】30分
⑫福祉計画の理論と技法 障害者福祉計画・次世代育成支援行動計画			(予)「障害者福祉計画・次世代育成支援計画」を読む			【予習】30分 【復習】30分
⑬福祉計画の理論と技法 地域福祉計画			(予)「地域福祉計画」を読む			【予習】30分 【復習】30分
⑭福祉計画の理論と技法 地域福祉計画策定の方法と実際			(予)各自が住んでいる地域の「地域福祉計画」を読む			【予習】30分 【復習】30分
⑮発表とまとめ						【予習】30分 【復習】30分
使用テキスト：新・社会福祉士養成講座 第10巻「福祉行財政と福祉計画 第2版」 社会福祉士養成講座編集委員会＝編集 ISBN978-4-8058-5430-3				その他参考文献など： 社会福祉基礎シリーズ 11「社会保障の制度と行財政」 秋元・一圓・柄本・椋野 編 有斐閣		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 内容が多岐に渡っており、かなり難解ですので、予習は不可欠です。また、自分の住んでいる地域の福祉計画や取り組みに関心を持ってください。						